

2013. 10. 21

「森づくり WG」の議論を始めるにあたって（メモ）

担当 蔵治光一郎

1. 「森づくりガイドライン」の中身を議論しはじめる前に、まずは流域圏の「森づくり」の実態をリストアップし、「矢作川流域の森づくり」と題する資料を作成したい。川部会、海部会、流域圏の住民が一目見て、矢作川流域圏の森の全体像が理解できる資料。

「矢作川流域の森づくり」の目次案

- ① 現況図（地形図、植生図など）
※ごくおおざっぱなもの（例：1km メッシュ）
- ② 地区別「岡崎、豊田、恵那、根羽、平谷」の森林の基礎データ
※新城、設楽、幸田、西尾などはどう扱うか
森林面積、人工林面積、天然林等面積
過去 5 年間の、間伐の実績、補助事業の種類別の実績、木材搬出量の実績
行政が長期計画の目標としている森林型と、その面積
- ③ 各地区でアピールしたい特色のある「流域圏の森づくり」の事例（複数可）
- ④ 市境・県境を超えた連携による森づくりの事例
明治用水の水源林
安城市と根羽村の連携
アイシンと根羽村の連携
矢作川水源基金の仕組みの紹介 など

2. 森づくり WG は平日の開催とし、会場は 4 地区持ち回りとする。

3. 次回森づくり WG の日程（12 月を想定）、会場（予定では恵那市）の決定

会場となる地区には、「矢作川の森づくり」に掲載する情報を発表していただく（県、市、森林組合、森林所有者、森林ボランティア等、それぞれ持ち寄る）。

訪問した行政組織のリスト

| | | |
|--------|---------------------|---------------|
| 9月5日 | 愛知県豊田加茂農林事務所林務課 | (西原・蔵治) |
| 9月11日 | 愛知県農林水産部 農林基盤担当局林務課 | (西原・蔵治) |
| 9月11日 | 愛知県西三河農林事務所林務課 | (西原・蔵治) |
| 9月11日 | 矢作川水源基金 | (西原・蔵治) |
| 10月2日 | 林野庁中部森林管理局名古屋事務所 | (西原・蔵治) |
| 10月4日 | 岐阜県林政部森林整備課 | (西原・蔵治) |
| 10月10日 | 愛知県環境部水地盤環境課 | (西原・蔵治) |
| 10月15日 | 長野県林務部森林政策課 | (西原・今村・蔵治) |
| 10月30日 | 林野庁中部森林管理局計画課 | (西原・蔵治) |
| 11月6日 | 恵那市経済部林業振興課 | (西原・洲崎・蔵治) |
| 11月6日 | 岐阜県恵那農林事務所林業課 | (西原・洲崎・今村・蔵治) |
| 11月7日 | 長野県下伊那地方事務所林務課 | (西原・洲崎・今村・蔵治) |

今後の日程 (案)

●12月11日(水) 第15回WG(恵那・平日) 会場：上矢作地区(要決定)

●1月(候補日：16日(木)、27日(月)、30日(木))

山の地域部会

プログラム(案)

午前9時半 めかた会館前駐車場、または本宿駅に10時に集合

事務局でマイクロバスを出していただく

第二早蕨幼稚園の見学(連絡済み)

昼食

千万町長坂の上の150年生の人工林の見学(積雪の状況により中止もありうる)

午後2時半 めかた会館に戻り、地域部会(会議室仮予約済み)

午後5時 終了、解散

●2月 全体会議

矢作川流域圏懇談会 第1回勉強会

蔵治 光一郎

東京大学大学院農学生命科学研究科
准教授（愛知演習林長）

1

矢作川流域市の森林計画

- 岡崎市
 - 森林整備ビジョン(案) 2011年3月予定
- 豊田市
 - 100年の森づくり構想・森づくり条例 2007年3月
 - 森づくり基本計画 2007年10月
 - 豊田市森づくり白書(H20年度版) 2009年12月
- 恵那市
 - えなの森林づくり基本計画 2008年3月
 - えなの森林づくり実施計画 2008年3月
- いずれも先進的な取り組み

4

矢作川流域圏の難しさ 難しさ転じてエネルギーとなる

- 3県にまたがっている
- どの県にとっても、中心的な地域ではない
- 岡崎市・豊田市の2大市
 - 歴史・文化が異なる
 - 水源の森が別々(岡崎は乙川、男川)
- 流域の境界と市町村の境界が合っていない
 - 旧作手村、旧設楽町、旧津具村、旧豊田市、恵那市、安城市、幸田町

2

望ましい森林の姿

- 岡崎市
 - ①めぐみ(地域産木材・林産物を育てる)②うるおい(防災、水、生物)③やすらぎ(市民の憩い、学び、活動の場)
- 豊田市
 - ①公益的機能の発揮②木材の循環利用③地域づくりと一体の森づくり④人材育成と共働(市民や企業との連携)
- 恵那市
 - ①多面的機能の効果的発揮②安定した林業・木材産業確保③市民とのかかわり

5



3

矢作川流域市の森林計画の目標年

- 岡崎市
 - 短期10年(2020)、中期30年(2040)、長期100年(2110)
- 豊田市
 - 短期10年(2017)、中期20年(2027)、長期100年(2108)
- 恵那市
 - 6年(2015)

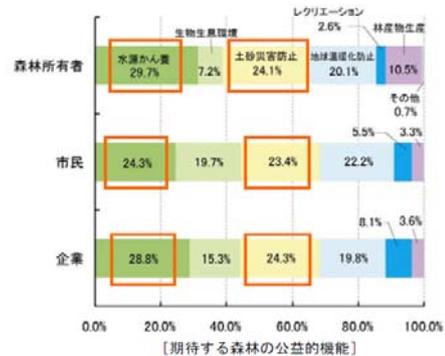
6

矢作川流域市の長期目標

- 岡崎市
 - 人工林率を60%から40%に。1/3は天然林化
- 豊田市
 - 人工林率を50%から25~35%に。半分~3割を天然林化
- 両市をあわせて、100年間に人工林を3~4割減らす計画
- 恵那市
 - 明示されていない

7

期待する森林の公益的機能 岡崎市森林ビジョン(案)より



10

矢作川流域市の中短期目標

- 岡崎市
 - 2040年までの30年間に、放置人工林5,000haをゼロに、総間伐実施量12,500haに
- 豊田市
 - 2027年までの20年間に、過密人工林55,000haをゼロに
- 恵那市
 - 2015年までの6年間に、過密人工林6,900haを間伐

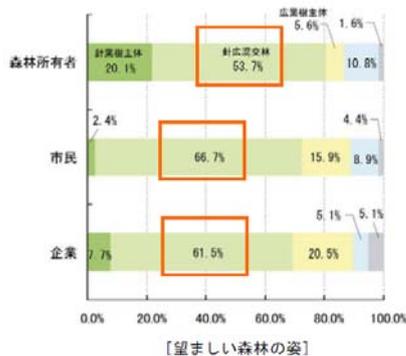
8

論点

- 計画はこれでいいのか？
 - 山村住民よりも都市住民を向いた計画？
- 計画は絵に描いた餅になるのでは？
 - 権限を持っているのは森林所有者
 - 所有者が納得しなければ何もできない
- 所有者だが都市に住んでいる人には何が期待されているか？
- 所有者でない都市住民にできることは何か？

11

望ましい森林の姿 岡崎市森林ビジョン(案)より



9